

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 福岡県
本事業の担当部局名 福祉子ども政策部子ども未来課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業							
区分	重点メニュー							
関連事業メニュー	1.2.1 自治体間連携を伴うライフデザイン・結婚支援重点推進							
個別事業名	福岡県結婚新生活支援事業市町村連携事業					新規/継続 (一般財源での 実施も含む)	継続	
実施期間	令和8年4月1日		～	令和9年3月31日		事業開始年度	令和4年度	
総事業費(A)(円)	4,831,458		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	4,831,458	
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	4,831,458							
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	0	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計	
	総事業費	4,831,458	0	0	0		4,831,458	
	対象経費支出予定額	4,831,458	0	0	0		4,831,458	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 過年度に引き続き、有配偶率の低下とそれに伴う出生数や合計特殊出生率の低下に歯止めをかけるべく、出会いの場の創出やライフデザイン支援を重点的に行うほか、子育て応援の気運醸成等を実施する。 令和5年度に実施した「県民意識調査」によると、「一生結婚するつもりはない」との回答は約2割で、大半の独身者が結婚を希望している。 未婚化・晩婚化の進行に歯止めをかけ、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるため、ライフデザイン支援や出会い・結婚応援をさらに拡充する必要がある。</p> <p><本個別事業の位置付け> 「福岡県子ども計画」において、施策の柱として、「IV 結婚・子育ての希望をかなえ、子どもを安心して産み育てることができるための支援」を掲げており、次代の親の育成、若い世代の生活の基盤の安定への支援と併せて、出会い・結婚応援を推進しているところである。本個別事業はその一環として、県内市町村や出会い応援団体と連携した結婚支援の取組みを展開していく。</p>						
番号	項目	内容						
1	福岡県少子化対策・結婚新生活支援事業推進協議会の運営 ※交付金対象外	<p>令和3年4月に設置した標記協議会において、県と市町村が連携して、結婚新生活支援事業の効果や課題・検証等を行うことで、結婚新生活支援事業実施市町村の面的な拡大を図るとともに、広域的な出会いイベント等の好事例の紹介や意見交換を行い、地域の実情に応じた結婚支援の取組みを推進する。 また、取組みの進捗状況など必要に応じて、標記協議会内に地域を限定した圏域協議会を設置できるとし、圏域協議会で検討した内容は全体協議会や個別市町村にフィードバックすることで、取組みのブラッシュアップを図る。</p> <p>【協議会概要】 ・構成メンバー：県(少子化対策担当課・産業労働担当部局)、県内60市町村の少子化対策担当課 ・実施予定回数：年2回程度(8月、2月) ・主な協議テーマ： ◇福岡県や県内市町村における少子化施策の事例紹介に関すること ◇少子化施策の先進事例や優良事例の紹介に関すること ◇結婚新生活支援事業の事例紹介、効果や課題に関すること ◇連携事業を含めた少子化対策の連携企画・立案に関すること</p>						

個別事業の内容

2	<p>圏域内の複数市町村と連携した広域的な出会いイベントの開催</p> <p>県内を4圏域に分け、圏域内における結婚新生活支援事業の対象者となる新婚世帯の増加や、圏域内への転入促進を図ることを目的に、複数市町村と連携し、地域の特性や資源を活かした当該地域の魅力を発信する広域出会いイベントを開催する。</p> <p>また、各出会いイベントの実績や課題について、協議会等を通じて共有することで、次の出会いイベントにおける質の向上を図るとともに、イベントでカップルになった方々へ交際に発展するよう個別相談等のフォローアップを行うこととし、結婚を希望する独身者への後押しとする。</p> <p>なお、出会いイベントは特定の者が参加するイベントであるため、対象経費には、地域の特性や資源を活かした当該地域の魅力を発信に関する費用(特産品や観光グッズ等)を開催費の一部として対象経費に含む(酒類、金券または開催費の一部とみなせないものは除く)。</p> <p>【イベント概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容 地域の実情に応じて、下記より選択して実施(県が設置している企業・団体間マッチング支援センターを活用) ① 圏域内の名所等を周遊するバスツアー ② 圏域内市町村の魅力再発見出会いイベント ・対象 地域の実情に応じて、参加対象者を決定(例:圏域内のみ、圏域内外問わず等) ・回数 県内4地域(福岡、北九州、筑豊、筑後)×2回 ・定員 対面式:10対10 <p>【県と市町村の主な役割】</p> <p>県:福岡県結婚新生活支援事業拡大方策協議会の運営、イベントの企画・提案(市町村との調整)、会場等手配、周知用チラシの作成、申込受付、イベント当日の受付・司会進行・カップリング等の運営</p> <p>八女・筑後結婚サポートセンター(自治体間連携事業予定)においてはイベントを企画するための情報提供、会員への積極的なイベント周知を行うほか、結婚新生活支援事業の普及促進に取り組む。</p> <p>市町村:協議会への参加、イベントを企画するための情報提供、対象となる独身者の選定(どの企業・団体等にするか)、募集用チラシの周知(集客)、参加者募集企業に対する結婚新生活支援事業の周知、各市町村の地域資源の提供</p>
3	<p>若い世代に対する未来応援フェスの開催</p> <p>市町村と連携し、将来的に結婚の希望を持つ若い世代に対し、出会い、結婚に早く踏み出すための後押しとするため、県及び市町村が行う結婚支援の取組(上記1の広域的な出会いイベントを含む)等を紹介するイベントを開催する。</p> <p>フェスでは、ライフデザインセミナーを開催するなど、若い世代が結婚を意識するような内容を盛りこんだ出会いイベントとする。</p> <p>加えて、本イベントの参加者に対しては、県内市町村が取り組む「結婚支援センター」への登録や、結婚支援事業への参加を呼びかけ、出会いイベントで上手く相手と話せない、カップルになるためのアドバイス等のフォローアップを行うこととし、結婚を希望する独身者への後押しとする。</p> <p>なお、周知は、市町村の外、「出会い応援団体」や県と包括提携協定を締結している企業と連携、イベント情報を配信している公式LINEアカウント「ふく♡こい」、「あかい糸めーる」にて行う。</p> <p>また、出会いイベントは特定の者が参加するイベントであるため、対象経費には、地域の特性や資源を活かした当該地域の魅力を発信に関する費用(特産品や観光グッズ等)を開催費の一部として対象経費に含む(酒類、金券または開催費の一部とみなせないものは除く)。</p> <p>【イベント概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容 イベント型ライフデザインセミナー ・対象 県内の20代～40代前半の独身者 ・回数 県内全域を対象に2回 ・定員 各100名 <p>【県と市町村の主な役割】</p> <p>県:イベントの企画・運営、会場調整、包括提携協定企業へ社員に対する周知協力依頼など</p> <p>市町村:会場候補地、集客に係る広報、企業・団体へ社員に対する周知協力依頼、当日運営補助など</p> <p>【コーディネーターの業務内容】※委託により実施(委託料は積算内訳書のとおり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントの企画・提案、市町村との調整 ・会場・講師・出展者調整 ・当日運営 <p>※周知用チラシ5,000部の配布先(市町村:2,500部、出会い応援団体を含む県内企業・団体:2,500部)</p>
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)></p> <p>地域間の人口減少の格差が生じる中、県内の人口減少・少子化対策として、引き続き複数市町村と連携し、広域の結婚支援に取り組む必要がある。また、イベントによっては20代の応募がない等、特に若い世代の参加が少ないため、若い世代を中心とした社会人に対して早期の結婚や婚活を行う意識を醸成し、イベントへの参加を促す必要がある。</p> <p>この課題への対応として、県内各地における出会いの場の創出は継続しつつ、将来的に結婚の希望を持つ若い世代に対し、出会い、結婚に早く踏み出すための後押しとするため、県及び市町村が行う結婚支援の取組等を紹介する出会いイベントを開催する。</p>	

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	合計特殊出生率の上昇		%	1.26以上 (R11年)	1.22 (R6年)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.22 (R6年)	
	婚姻件数		件	21,033 (R6年)	
	婚姻率			4.2 (R6年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	<広域的なイベント>イベント参加者数	人	160 (R8年度)	120 (R7.12月)
	②	<未来応援フェス>イベント参加者数	人	200 (R8年度)	134 (R7.12月)
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	65 (R8年度)	77 (R7.12月)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	60 (R8年度)	54 (R7.12月)
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	――	――
	④				
	⑤				
⑥					
⑦					
⑧					

(参考) 積算内訳書

1. 自治体名	福岡県	
2. 個票番号・個別事業名	①	福岡県結婚新生活支援事業市町村連携事業

3. 本個別事業の寄付金その他の収入及びその内訳

No	収入区分	収入区分毎の内訳	寄付金その他の収入予定額 (円)
1			
2			
3			
4			
5			
計			0

4. 本個別事業に要する費用及びその内訳

No	経費区分	経費区分毎の内訳	総事業費 (円)	対象経費支出予定額	
				対象経費支出予定額	対象外経費支出予定額
1		②圏域内の複数市町村と連携した広域的な出合いイベントの開催 (小計 1,508千円)			
2	委託料	・コーディネーター人件費 (2人給与及び電話代) ※過去の類似事業における予算実績に基づく	1,304,324	1,304,324	
3	委託料	・コーディネーター及び補助者旅費 (1,620円×2人×8回×2回) (事前打ち合わせ・イベント当日)	51,840	51,840	
4	委託料	・イベント企画提案書及び募集チラシ印刷代 (12.1円×8回×150枚)	14,520	14,520	
5	委託料	・消費税	137,068	137,068	
6		③若い世代に対する未来応援フェスの開催 (小計 3,324千円)			
7	委託料	・コーディネーター人件費 (3名給与及び通信運搬費等) ※過去の類似事業における予算実績に基づく	1,845,311	1,845,311	
8	委託料	・コーディネーター及び補助者旅費 (1,620円×3人×3日×2回) 事前打ち合わせ、講師調整、イベント当日	29,160	29,160	
9	委託料	・講師謝金 (25,700円×4h×2回)	205,600	205,600	
10	委託料	・講師旅費 (1,620円×2人×2回)	6,480	6,480	
11	委託料	・広報経費 (A4、4色両面、5,000部) ※過去の予算実績に基づく	275,000	275,000	
12	委託料	・会場借り上げ代 (330,000円×1式×2回)	660,000	660,000	
13	委託料	・消費税	302,155	302,155	
14					
15					
計			4,831,458	4,831,458	0

(経費区分ごとの合計)

区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
総事業費	0	0	0	0	0	0
対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金	計	
総事業費	4,831,458	0	0	0	4,831,458	
対象経費支出予定額	4,831,458	0	0	0	4,831,458	
対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	

(参考) 結婚支援センター及び結婚支援事業者の登録優待費用の内訳

(単位: 円、人)

番号	登録優待方法	1人当たり登録優待額(A)	登録優待予定人数(B)	諸経費(C)	合計(A×B+C)
1					0
2					
3					

※1人当たり登録優待額を複数設定する場合は、それぞれについて記入すること。